

相馬地区 安全・安心協働活動協議会

団体の概要

相馬16地区の町会長と地区の交通安全関係団体、防犯関係団体、老人クラブ、駐在所、小学校教諭など相馬地区の安全・安心に関わりが深い方々で協議会を設置しました。

続けるポイント

○町会長、地区交通安全委員会、交通安全協会、交通安全母の会、防犯協会、防犯指導隊等様々な関係団体と「情報交換」、「協働活動」を行うことで、改めて気付くこともあり、情報共有・意見交換会を重ね、できることから実行していくことが重要だと思っています。

地域住民の
情報交換の場



危険箇所等の点検

主な活動内容

○協議会のメンバーで地区の危険箇所についての情報交換や見回りを実施しています。

危険箇所については、道路が狭い場所、交通事故多発地帯のほか、避難所やAED設置施設、振り込め詐欺・防犯・防災にも活用できるよう工夫した「地域安全マップ」を作成し、全戸へ配布しました。また、地区集会所などの施設掲示用に大きなサイズの安全マップを作成するなど、地域全体で安全・安心を守る意識を高めています。



広げるポイント

○小学校の地域安全マップ、交通安全委員会の安全マップなどからも危険箇所を拾い上げ、実際にまち歩きを行い、子ども、大人、高齢者の視点を1つのマップにまとめ、全戸へ配布しました。

学校、地域、行政が一緒になって地域を見守っていることを伝えることで、各家庭はもちろん、地域の安心感につながっていくと思います。

危険箇所等の点検



活動を進める ポイント

○当地区は、合併前の相馬村の頃から、「交通死亡事故ゼロ」6,000日を達成するなど、もともと交通事故防止への意識は高かったものの、バイパスなどの開通により交通事故がたびたび発生するようになりましたが、地域内の危険な場所などをお知らせすることによって、少しでも交通事故が減少するように意識しています。

また、地区内でも不審な振り込め詐欺などのハガキが送られていることから、詐欺の種類も掲載し注意を促しています。併せて、AEDの設置場所、避難所なども「地域安全マップ」に掲載するなど、安心面についても考慮しています。

安全マップの作成



今後の課題や 抱負

○町会連合会と各交通安全や防犯関係の団体が協議会として一緒に活動を行い、相馬地区の安全・安心なまちづくりに取り組んでいくこととしておりますが、活動継続に対する協議会会員の理解を得ることや、お互いの情報共有、地区内でどのように連携していくかが重要だと考えています。